

— 遷御絵巻・高取稚成 画 —
阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>

報 社 あそみや

平成25年1月1日

第 5 5 号

発行所

阿蘇神社社務所
多良見町化屋862
☎ 0957-43-5235

謹賀新年

阿蘇神社

宮司 大島 大明

あめつらの神にぞいのる朝なぎの

海のごとくに波たたぬ世と

昭和天皇御製

平成二十五年の初春を寿ぎ、氏子崇敬者皆々様の御多祥を祈念申し上げます。併せて本年も格別のご支援助ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

今年巳年、動物では蛇を当て

ます。時刻では午前九時から十時までを示し、方角は南南東を表す

ようです。巳年の人は、知的で常

に自己研鑽に努め、どんな仕事も嫌がらずこなすと云われます。

新たな年も原発・沖縄問題、TPPなど国内外に難問が続き、厳しい一年になることが予想されますが、波風の立たない穏やかな年であることを祈ります。
本年十月より伊勢神宮では、第六十二回式年遷宮が始まります。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

一、世のため人のために奉仕し、
明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、
国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

平成二十五年節分祭 豆撒き奉仕者募集!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(日曜)に行われます。多良見町商工会青年部・女性部他のご支援と多くの商店商社のご協賛をいただき開催される節分祭は、諫早市の迎春行事として定着し、毎年多くの方が一年間の福を求めて参拝されます。

節分当日には一〇〇*の豆が撒かれます。不況を吹き飛ばし明るく豊かな年になるよう祈念をしたいと思っておます。
巳(み)歳生まれの皆さん、豆撒き行事に是非ご参加下さい。

◎募集要項◎

一、日時

二月三日(日曜日)

豆撒きの時間

- 一回目 午後六時四十分
- 二回目 午後七時四十分
- 三回目 午後八時四十分

※袴への着替えのため、いずれも

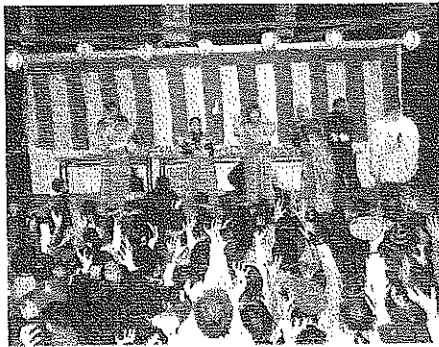
四十分前には神社に集合していただきます。

二、募集人員

各回 七名 合計二十一名
男女は不問ですが、子供は七名中二名までです。

三、参加料

大人 八千円
子供 五千円
記念写真・記念品を贈呈



— 特設舞台から豆撒き —

四、今年の年男・年女(巳歳生)

平成 十三年生、平成 元年生
昭和五十二年生、昭和四十年生
昭和二十八年生、昭和十六年生
昭和 四年生

五、申込方法

住所・氏名・生年月日と希望する時間を紙に書いて、参加料を添えて社務所へお届け下さい。
袴の数の都合で定員になり次第締め切りますので、お早めに申込をお願いいたします。

電話 四三―五二三五
ファクス 四三―二一八三

◇節分◇

節分というと現在では二月の節分を思い起こしますが、本来は春夏秋冬の四季の分かれ目を節分といいます。二月の節分は立春の前日、春の節が始まる日で古来から祓いの行事が行われてきました。家庭では災厄や邪気を祓う行事として豆撒きをします。「福は内鬼は外」と唱えて豆を打つ家庭が最近少なくなってきたようです。神社の節分で拾った豆は家に持ち帰りご家庭で是非お撒き下さい。



— 火焼(ほやき)神事 —

◇神社からお願い◇

- ① 火焼神事は、午後九時で終了します。当日は遅れないようにお持ち下さい。本殿前に御神札等の納め所を設けています。
- ② 神棚・神殿は一つにまとも、陶器・ガラス製の付属品は分けてお持ち下さい。
- ③ ビニール袋ではなく、新聞紙または紙袋でお持ち下さい。
- ④ 人形(雛人形、武者人形など)は可ですが、ケースのガラスは自宅で処分して下さい。また、ぬいぐるみは不可ですので自宅で処分して下さい。
- ⑤ 神社と関係ないものは持ち込まないようお願いいたします。

新嘗祭終了

平成二十三年の新嘗祭が、十一月二十三日に斎行されました。

幣殿の左右の柱に懸税(かけぢから)の稲穂の束を揚げ、神前には新穀を神饌とし、宮司が五穀豊穡の感謝の祝詞を奏上、参列者の代表が玉串を捧げ拝礼を行いました。祭典後は社務所で直会を開催。まず農業関係者を代表して、JA長崎西彼の森健志朗理事が挨拶、岩本評議員の発声で乾杯を行い、新嘗祭を祝いました。



— 新嘗祭への奉納品 —

☆新嘗祭への奉納☆ [敬称略]

- ◇懸税・初穂 松山弥八
- ◇懸税・玄米 草野 榮
- ◇献穀米

宮中献穀田西海市奉賛会

長崎県神社庁西彼支部

長崎県神道青年会

- ◇供米 草野千鶴子
- ◇蜜柑 森 健志朗
- ◇キウイフルーツ 犬塚秀樹
- ◇献酒 親和銀行多良見支店長・山下 博、諫早市、たちばな信用
- 金庫多良見支店長・水口潤二、(有)喜々津青果・諸岡敏治、エコワンホーム(株)
- ◇初穂料 北島守幸、森 健志朗、(株)森 開発・森 強、JA長崎西彼喜々津支店長・森 浩幸、(有)森商会・森 誠司、松山弥八、蔭山 勇、岩本 勲、松尾勝喜、嶋田彌八郎、中村眞夫、木下 剛、草野 榮、相川十九生、峰 一孝、松崎 章雄、白石幸男、松尾一彦、前田 信太郎、松尾清人、向井徳磨、宮 嶋 博、溝上一盛 以上

§総代会便り§

平成二十四年度総代会の主な事業内容をお知らせします。不明な点は社務所までお尋ね下さい。

会が開催され、総代会代表が奉納御礼の挨拶を行う。

十月十五日 例祭

前日に鳥居他への注連縄・竹・椎の木の取り付け作業。

十一月二十三日 新嘗祭

十二月 二日 注連縄作り
総代(含元総代)・評議員他に参加協力を依頼して実施。

当日は十九名が参加した。

十二月の工事 第一鳥居よりの参道の改修工事を行う。

十二月二十三日 門松用竹切り他

十二月二十九日 門松設置、鳥居他への飾り付け。

十二月三十一日 鏡割り・初詣参拝者の接待及び雑路警備。

二月 三日 節分祭
火焼神事・豆撒き行事・餅まきと、昼過ぎより夜まで神社に詰める。

翌日以降は後片付に従事。

二月十一日 紀元祭
喜々津邦楽愛好会による尺八の奉納演奏が行われる。

尺八の伴奏で「紀元祭」の歌を全員で斉唱する。

九月六、七日 中央研修会
総代会の県本部主催の研修会
総代三名参加。

九月十六日 奉納相撲大会
穂上祭に引き続き奉納相撲大会

四月十六日 監査会
評議員より選出された監事二名が前年度の会計監査を行う。

五月 九日 総代会
五月二十四日 境内西側・社務所上部の危険木の伐採及び枝打ち作業を行う。
五月二十八日 評議員会
総代会の予決算書を審議
奉納相撲実行委員会より相撲大会の収支報告。
二十四年度の監事を選出。
◇監事新任
化 屋 松尾勝喜 殿
木床二区 岩本 勲 殿
七月 三日 西彼支部総代会総会と研修会
総代二名が参加。
九月六、七日 中央研修会
総代会の県本部主催の研修会
総代三名参加。
九月十六日 奉納相撲大会
穂上祭に引き続き奉納相撲大会

初詣(はついで)阿蘇神社へ!!

一年の計は元旦にあり

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい

平成25年 算賀表

(年齢は数え年)

厄入 男 41歳 昭和48年生
 女 33歳 昭和56年生
 厄払 男 42歳 昭和47年生
 女 34歳 昭和55年生

その他の大厄の年
 男 25歳 平成元年生
 女 19歳 平成7年生

◎ その他、男女とも22歳、
 28歳、37歳、49歳、52歳、
 58歳が厄年とされています。

還 暦 61歳 昭和28年生
 古 稀 70歳 昭和19年生
 喜 寿 77歳 昭和12年生
 米 寿 88歳 昭和元年生

◎ その他、80歳を傘寿、90
 歳を傘寿、99歳を白寿、
 100歳を上寿といひます。

参賀は人生の節目です。
 神様に報告をいたしましょう。

お知らせ

◎元旦午前零時に鏡開きを行い、
 御神酒(樽酒)を振る舞います。
 ◎新年の御祈願は元旦午前零時よ
 り随時受け付けます。
 会社・団体の新年の祈願祭も随
 時受け付けています。
 家内安全・商売繁昌
 厄入・厄払・試験合格
 交通安全祈願 他

◎神社の駐車場は台数に限りがあ
 ります。ご参拝の皆様方にはご
 迷惑をお掛けいたしますが、ご
 容赦のほどお願いいたします。

◇年末年始の神社行事予定◇

十二月三十一日午後四時 大祓式
 午後十一時 除夜祭
 一月 一日午前零時 歳旦祭
 一月 三日午前八時 元始祭
 二月 三日午後五時 節分祭
 二月 十一日午前十時 紀元祭
 喜々津邦楽愛好会による尺
 八の奉納演奏があります。
 ◎紀元祭にはどなたでも参列でき
 ます。尺八の伴奏で「紀元節」
 の歌を合唱します。一緒に歌っ
 てみませんか。
 ◎ご家族ご近所お誘い合わせ、ご
 参列下さい。

謹賀新年



阿蘇神社 宮司 大島 大明
 責任役員 会長 前田信太郎
 副会長 吉野 徹
 総代 松尾 清人
 大久保治賢
 宮嶋 博
 向井 徳磨
 溝上 一盛
 松尾 勝喜
 岩本 勲
 監事 " " " " " " " " " " " "

◆編集後記◆

十月八日に今年のノーベル医学
 生理学賞の受賞者が発表された▼
 京都大 i P S 細胞研究所長の山中
 伸弥教授の開発研究は、難病の治
 療への基礎研究とのこと。テレビ
 での解説を聞いても理解できない
 が、山中教授のノーベル医学生理
 学賞の受章を日本人として誇りに
 思う▼「失敗は次の成功のきっか
 けだ」が山中教授の口癖とのこと。
 山中教授の更なる活躍を祈念した
 い▼寒さ厳しき折柄、ご自愛専一
 にお過ごし下さい。